

道徳だより

学校で取り組んでいる道徳教育について紹介します。

道徳の授業で進んで働くことについて考えました。



なかふじルームでも、みんなのために進んで働いてくれる人がたくさんいます。給食の後片付けをしてくれたり、水筒のお茶がこぼれたときに雑巾でふいてくれたり・・・とてもすてきですね。

- 「おじいさんのすごいところはどこかな？」
- 朝早く起きて、ゴミを拾っていてすごいな。(ST)
 - おじいさんは進んでゴミステーションの片付けをしてくれていて、やさしいな。ずっと掃除が続けられるところがすごいな。(KR)
 - にこにこで片付けをしているところがすごいな。(SY)
 - お金も何ももらえないのに、一人でお掃除ができるところがすごいな。自分は何もしていないから、何かした方がいいのかな。(SR)



勤労
公共の精神



宿題で家のゴミ捨て係になった「わたし」が、ゴミステーションを進んで掃除している近所のおじいさんと出会うお話です。
自分の仕事ではないことを進んですることについてグループで話し合いました。

道徳便り

学校で取り組んでいる道徳教育について紹介します。



1年生では、道徳の授業で正直な心について考えました。「どんぐり」



〈児童の発言や感想〉



どんぐりがたくさん落ちていている公園を友達から教えてもらった主人公は、学校からの帰り道、公園に寄り道をしてしまいました。そのことをお母さんに知られないようにするために、ついつい、二回うそをついてしまふ、という話です。

重ねてうそをついてしまった主人公の状況や気持ちに寄り添いながら話し合い、正直でいることの大切さについて考えました。

●はじめにうそをついたときは、早く何か言わなくちゃお母さんにおこられるかも... と思ったんだと思います。

●二回目にうそをついたのは、うそをつくつもりはなかったんだけど、どんぐりをお母さんに見られて、怒られるのがこわいからついつい、うそをついちゃったんだと思います。

●もっとドキドキしたのは、お母さんに二回もうそついたらこわいからだと思います。

道徳便り

学校で取り組んでいる道徳教育について紹介します。

3年生は道徳の授業で友情・信頼について考えました。

「なかよしだから」

宿題を忘れた主人公の「ぼく」は、仲良しの「実さん」に宿題の答えを教えてもらおうとします。前日、「実さんにカーブの投げ方を教えてあげたのだから、そのお返しに教えてくれるだろう。」と考えていましたが、実さんに「なかよしだから、なお教えられないよ。」と断られてしまいます。その後、「ぼく」は、実さんの言った「なかよし」の意味について考え始める、というお話です。このなかよしだからというお話を通して、本当に相手を思ふ行動とはどのようなものか、よりよい友だち関係について話し合いました。



〈振り返り〉

- この時間で、本当のいい友だちの意味がよく分かりました。ぼくも、実さんみたいになりたいです。
- 親切にするのはいいけれど、親切にしすぎてその人のためにならないことはしてはいけなないと思いました。
- 人のことを思ってくれる人やなかよしの人のことを考えしてくれる人が、本当にやさしい友だちなんだと分かりました。これから相手の将来のことを思ってから行動したいです。



